

SCHOOL NOTE BOOK

EXTENSIVE DELUXE NOTE OF USEFULL & WIDESPAC

TITLE

日常使われている道具の
移り変わり

敬学会賞第三九回入選作品

6年1組
山口やよい

昭和60年

105

40A

目次

- (1) 研究をはじめたわけ --- 1 ページ
- (2) 研究計画 --- 2 ページ
- (3) 研究方法
- (4) 研究内容 --- 5 ページ
- (5) 研究のまとめ --- 28 ページ
- (6) 研究の反省 --- 29 ページ
- (7) 参考資料と協力者 --- 30 ページ

6 年 1 組 氏名 山 口 やよい

指導の先生

研究題目 日常使われている道具の 教科 社会
移り変わり

1、研究をはじめたわけ

前におさらい帳でおばあちゃんの小さい頃に
使われていた道具と今使われている道具
の変化を調べたことがあります。
その時いろいろな事を教えてもらって
とてもおもしろかったのでこの研究をして
みたいと思いました。

2、調べたいこと (かじょう書きに、くわしく、予想も書いてみよう)

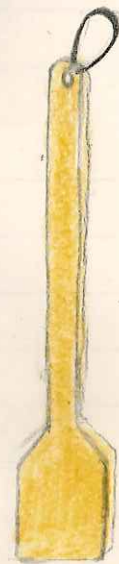
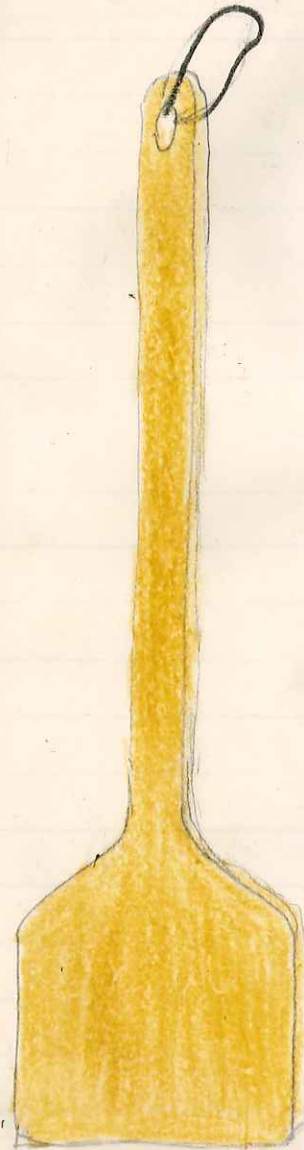
調 べ た い こ と	予 想
昔はどういう物がおもに使わ れていたか。	
昔の道具と今の道具は、どのように して変わってきたか。	
昔の道具より今の道具はどのように 便利になったか。	

は、すべりげたですべりました。

平らな道路を乗る時は、右の足の下に竹スキーを
おき、左足でこぎました。

山の
山-小で乗る時は両足にしいて乗ったり、上手な人は
片足ですべったそうです。(母からの話)

6月3日



①名前 雪べら

②どうして調べたか。

・家にあった。

③用途 雪おろし

坂づくり

④今はどのような物

に変わったか。

スノーダンプ

プラスチックのシャベル

⑤昔から雪おろしをする

のには、金物のシャベ

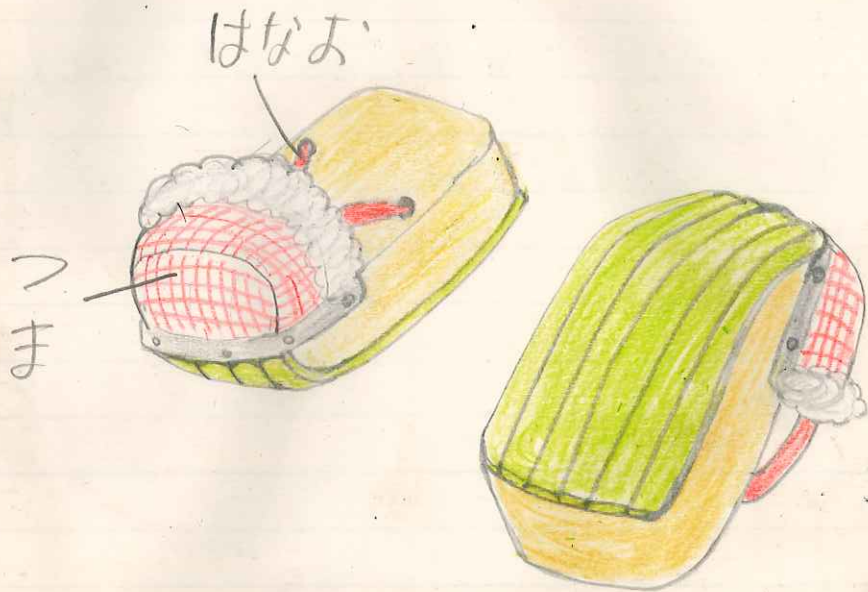
ルがいましたが、その

おろした雪を上からたたいて坂を平らにしたり、雪の坂を

つくる時に大きな雪べらで坂を平らにしたりしました。

小さいのは小供用です。

6月3日



① すべりげた。

② どうして調べたか。
本で調べた。

③ 用途 雪の上で、すべって遊ぶもの

④ 今はどんな物に変わったか

スケートぐつやミニスキー

⑤ おかあさんが小学生の時に学校に行く時に、ランド

35年

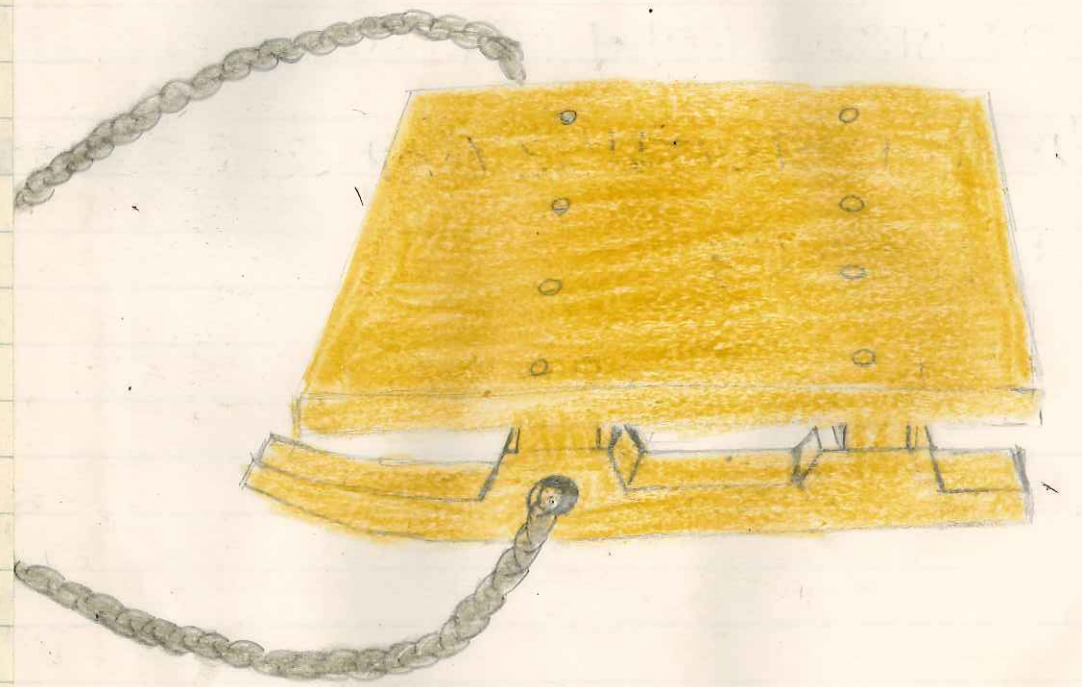
セルを背おって すべりげたをはいて行ったことがあるそうです。

^(冬には)
あと、おもたか山などで毎日のように乗ったそうです。

昔は、たびをはいていたのではなおがぬれると、たびに色が
ついたりしたそうです。

古くな、たら、はなおや、つまをとりがえたり、そのの竹
をはりかえして、何年間もはいたそうです。

6月3日



①、そり

②どうしてしりべたか。

家にあったから

45年

③用途 雪の坂などですべるもの

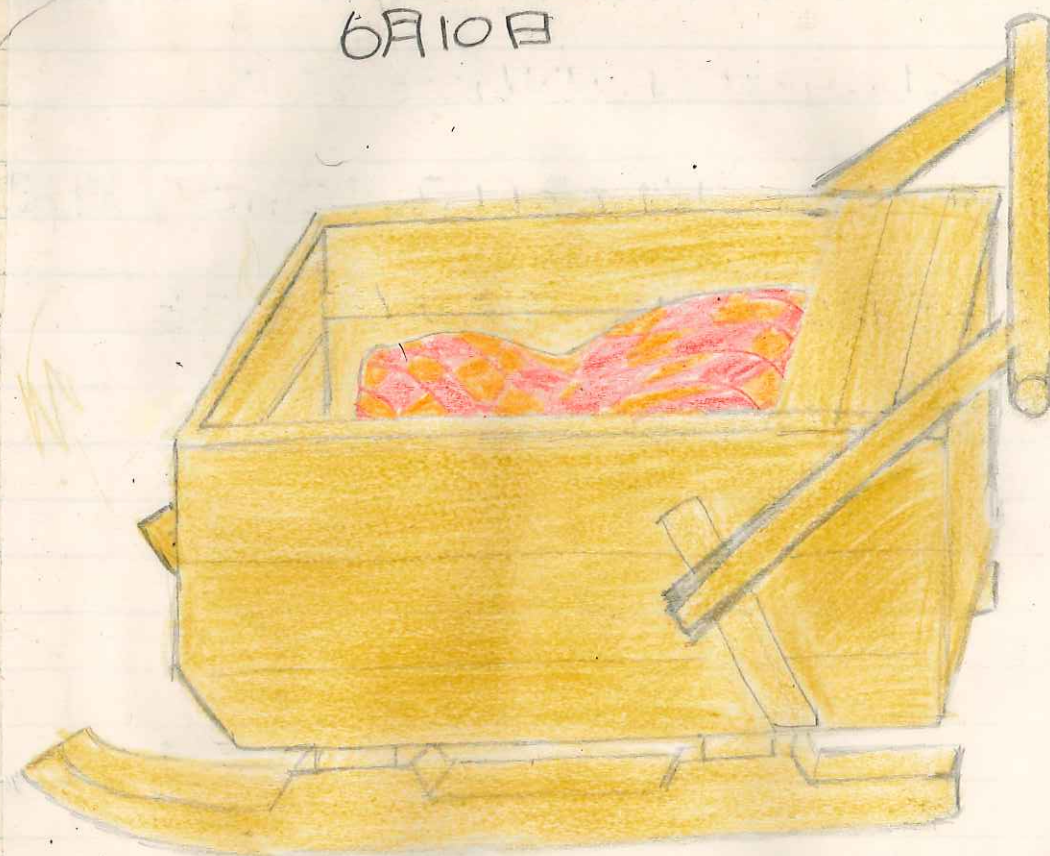
④今はどんな物に変わったか

スノーボードなど

⑤山ですべったり、庭に作った坂ですべったりしたそうです。

す。おしりがつめたかったので、すみだわらについてくる、まる
いわらのざぶとんのようなものをしいてすべったそうです。
今のスノーボードに比べると、とても重くて坂を登る時に
とても大変だったそうです。

6月10日



① はごぞり

② どうして調べたか。

本で調べた。

22年

③ 用途 人を乗せて雪の上でおして歩くもの

④ 今はどんな物にかわったか
なし

⑤ 母が小さいころ、としごの姉と、いっしょに乗せられて

買ひ物や、用たしにつれていかれたそうです。

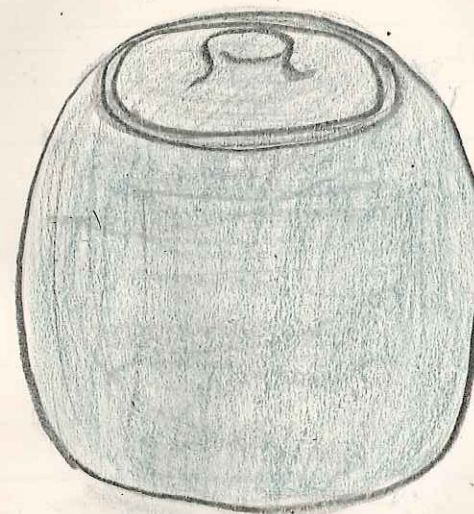
中に小さなあんかのような物を入れて、上に小さな布団をかけて、あたたまりながら乗ったのだそうです。

⑥私の感想

今のビニールでできているうば車とちがって、はこぞりは木でできているようだから、ごつごつして乗りずらかったと思います。

今みたいに交通がはげしくないのがよかったかもしれませんが、ひっぱる人はとても大変だったと思います。

でも あんかにあたたまりながら二人で乗るなんていいなあと思いました。



① ひけしがめ

45年

② どうして調べたか

家にあたら

④用途 一日がおわって、もうすみがいらぬという時に、このかめに入れておき、次の日また使うんだそうです。

⑤昔はどこの家でも、火ばちや火ごたつ、せりんなどを使っていたので、朝かまどでご飯をたく時に必ず炭を起こして、火ばちやこたつに入れた。料理をする時など

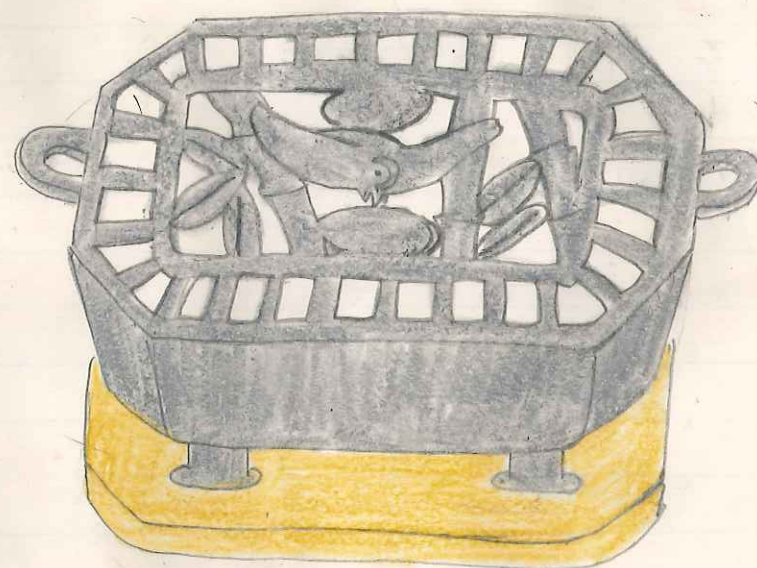
は、たいていセリンやかまどでやったのだそうです。

それで、調理がおわって火がいなくなると、ひけしが
めに入れたそうです。

ふたが重いので真っ赤な炭を入れても、酸素が欠け
て、自然と消えてしまうそうです。

一度 おこしてから 消した炭はやわらかく
セリンで魚をやくときなどすぐ赤くなり 便利
だったということです。

6月10日



① 足あため

② どうして、調べたか
家にあたらから

③ 用途 雪のふっている時(さむい日)などは、この上に、足
をおいて、あたためたんだそうです。

④ 店にお客さんがいらして椅子に腰をおろして、商売の
話をするのですが、側にいくらひばちなどをおい

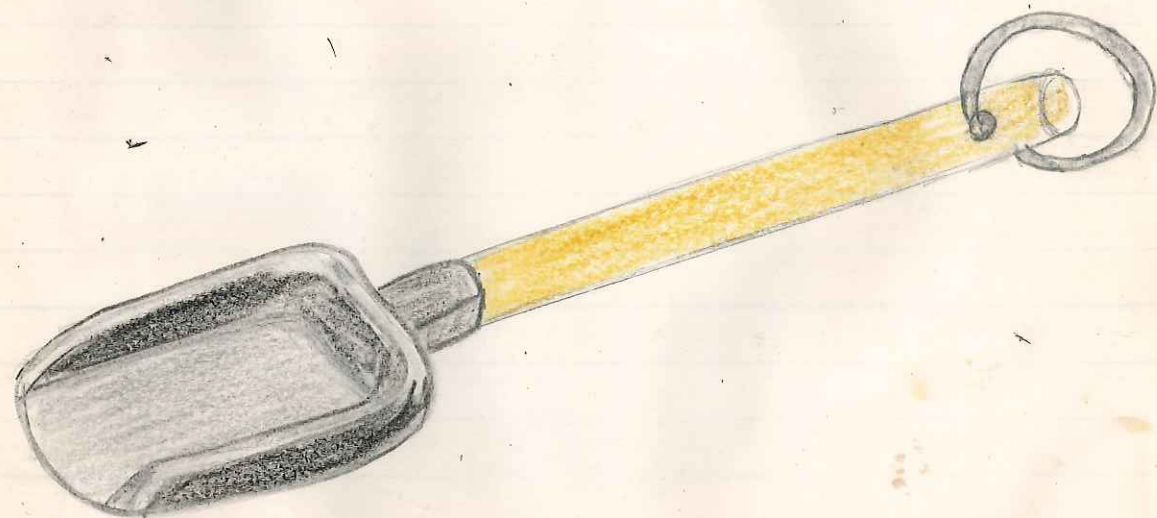
でも店の戸はあけ、はなしたし、とても足がうめたいので”
お客さんは雪がたや長ぐつをぬいて、たびのまま
この土に足をあげてあたたまったそうぞ、
中には、あくが入っていて、その中にすみが入ってしまし
た。

⑤今は、どんな物に変わったか。

足温器

⑥、私は、昔もやはり、とてもお客さんを大事にしていた
のだと思う。

6月20日



①じゅうのう

②なぜ調べたか
家にあたから

③用途 すみを運ぶためのもの

④今は、どんな物にか変わったか。

もっとかんたん、小さなじゅうのう

⑤

6月20日



昔は
いろいろなど
につるした
のでなべ
や鉄ひし
にはこの
ようなつる
かいて
いる。

① かたつきなべ

② どうして調べたか
家にあつたから

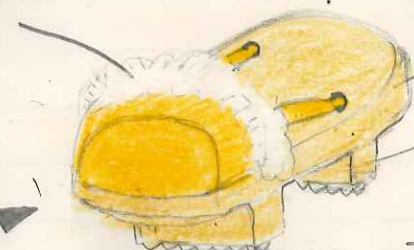
③ 用途 お湯をわかして別の入れものに移す。
時などに使われた。

⑤ あか(銅)で出来ているのでわらびのあくめぎ
をしたり きゅうりづけ
胡亂漬 にかける 塩水をこのなべ

でふっとうさせそれをかけると色がきれいに
なるのだそうです。

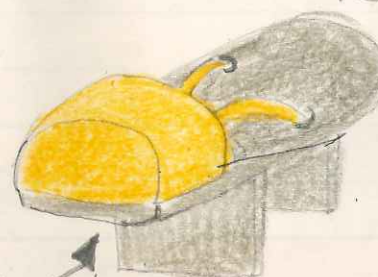
6月24日

あたたかいようについている



台と歯が
1つの材料で
出来ているのが
駒下駄

すばらないよう
についている



台と歯が
別な材料
なのが
あしだ

① 雪げた, ^{たかあしだ}高足馬太

② どうして調べたか
家にあたたかい

③ 用途 天気のよい日はぞうりやげたをはいたかい
雪下駄は雪の日に、高足馬太は雨の日に
つかわれました。

④ 今はどんなものになったか。

スノートレー スノーブーツ ゴム長ぐつ

⑤ 今も おばあちゃん ^{ゆき}は和服を着ているし おとう

さんも お寺さんの着物を着るときにはくので

^{ゆき}雪下駄 ^{あし}あしだ ^{ぞうり}ぞうり ^げ下駄などたくさんあ

ります。おばあちゃんが ^{よめ}お嫁に来る時にもら

つて来たという下駄や ^{たかあし}高足駄には タタミのよう

なのが ついていて つめたくないようになっていきます。

^{ゆき}雪下駄の ^{すべ}そこについている 滑り止めは前は金物

だったそうですが今は雪の所を歩いたりアーケード

の下など雪のない所を歩いたりするので ゴムに

なったそうです。

母の小さい頃は庭に植えた桐の木で女の子用のぽく

^{こま}り下駄、大人用の ^{こま}駒下駄をたくさん作ってあき

はきもの屋さんで自分の好きなはなをす げて

もらうのがとてもうれしかったそうです。

ふいなぞこまくら

6月24日



中には そば^かからや
お茶^かからを入れた
そうです。

木の材料
(ツゲ・朴・木同 など)

① 昔の男の人と女の人のかまくら

② どうして調べたか

家にあたりから

③ 用途 ねむるときに使った。

④ 今はどんなものになったか。

パニヤ・ソバガラ、羽毛 などの 大きく

ふわっとした枕が多い

⑤ 昔の人は男の人、女の人、髪を結っていたので

髪がくずれないように こんな形のかたい枕に

ねたのだそうです。 ^{また}嫁入道具の一つとして

^{うるし}漆ぬりや ^{まきえ}蔦絵のついた枕を持って行く習慣もあった

そうです。 夏につかったという涼そうな ^{とうまくら}藤枕や

陶枕も見せてもらいました。

それに昔のゆう便配達をする ^{ひきやく}飛脚が 使った ^{ひきやく}飛脚

^{まくら}枕というのを本で見ました。箱のような形の枕に

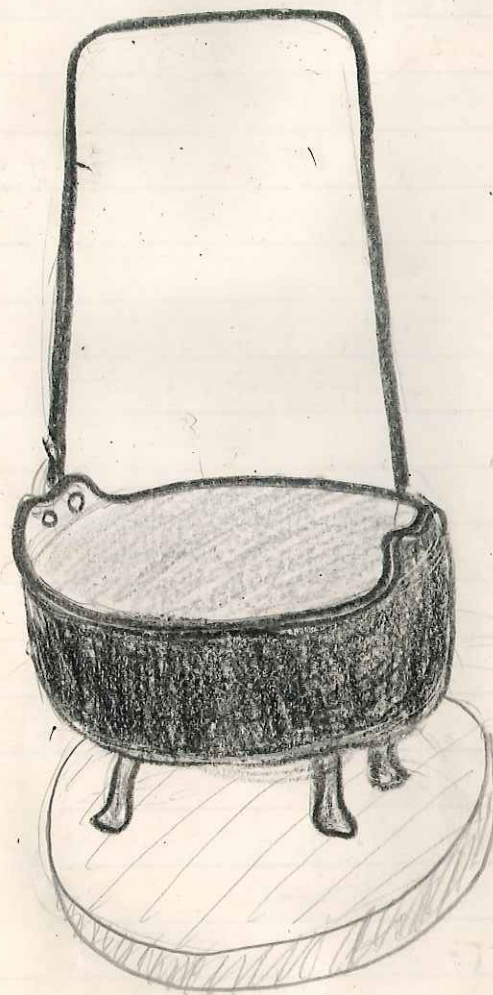
かぎがついていて、その中に手紙を入れて

かぎをかけてそれを枕にしてねるということ

でした。とうなん防止になり大切な手紙を守る

のによく考えたと思いました。

6月24日



^{だいじゅうのう}
①台十能

② どうして調べたか
家にあたから

③ 用途

おきたすみを持ち運ぶのに

使ったのだそうです。

④ 今はどんな物にかわ
たか。

今はあまり使っていない。

⑤ 昔は朝(特に冬)起きると、

こたつやひばち、それから

いんたんひばちなど、火を

運ぶ場所が多かったのだ。

たくさん火を起こして順番に運んでいったのだそうです。

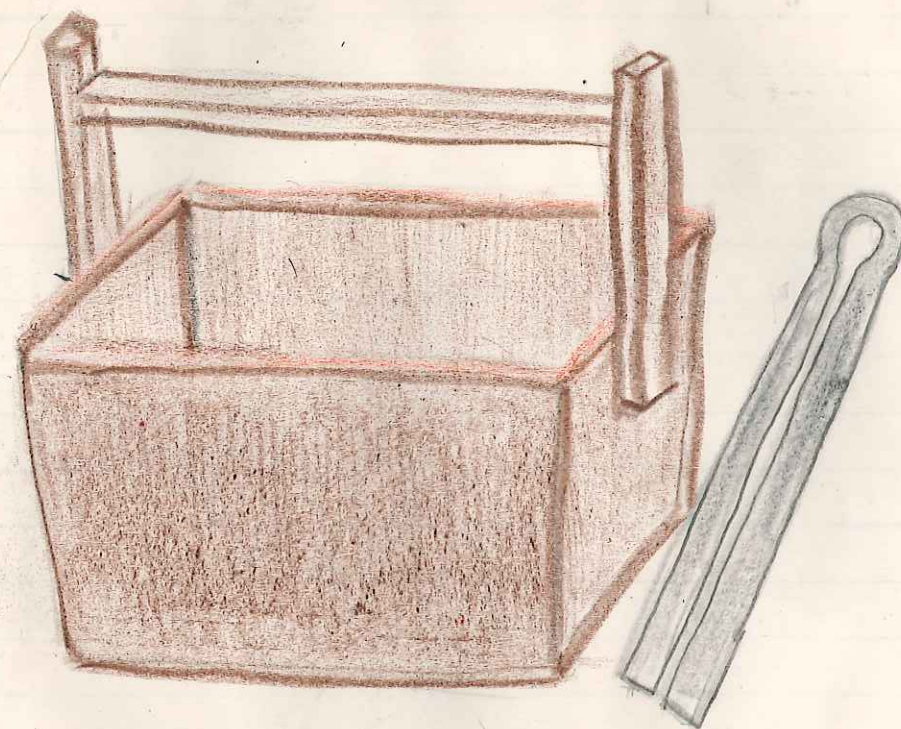
学校でも、ようむいんの おじさんがこれに火を入れて
各教室にわけて歩いたのを覚えているそうです。

⑥ 私のかんそう

普通の家では、もうあんまりすみは使ってないようだが
けれど私の家では店やちやのまで使います。

あと使う所は、うなぎやさん(しょう売店)などで見たこと
がありました。

7月30日



① すみとり

② どうして調べたか
家にあつたから

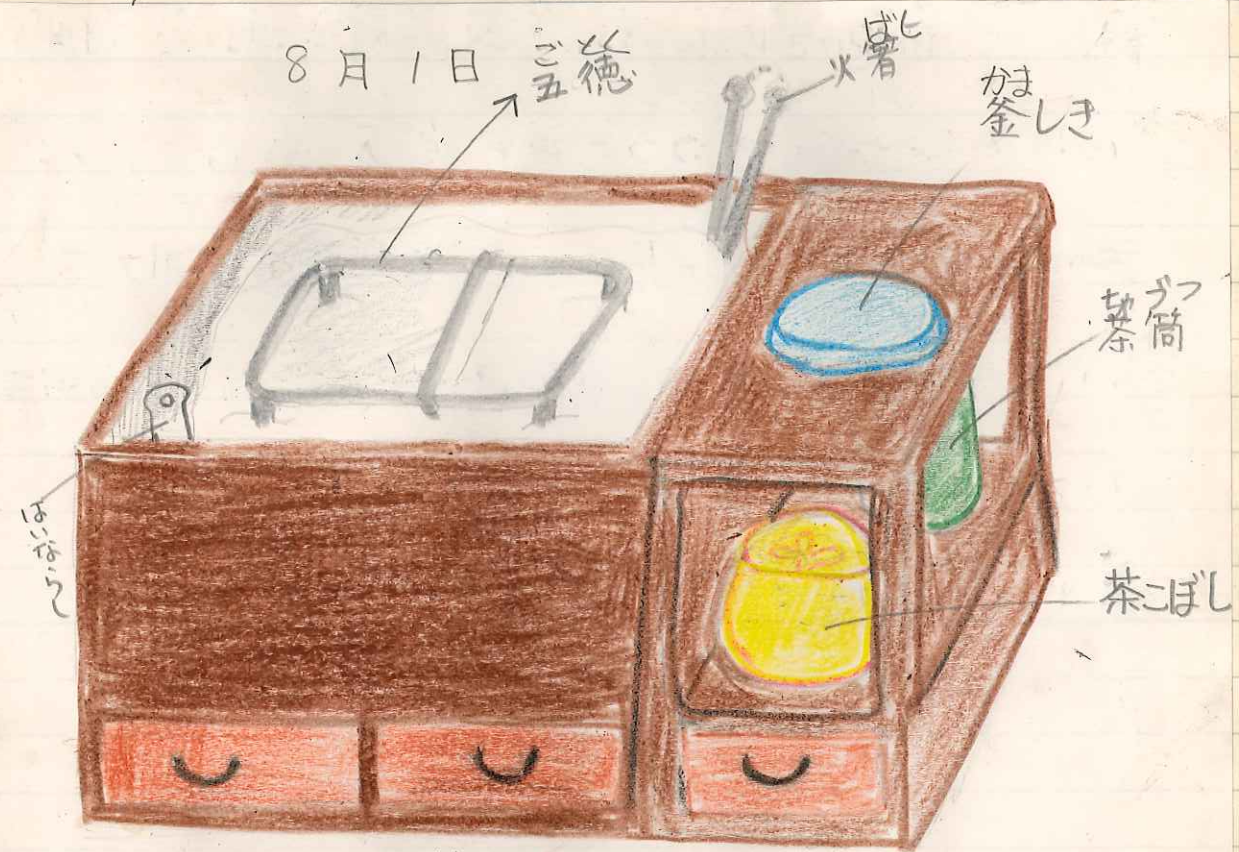
③ 用途 すみを入れておく、入れもの

④ 茶の湯などで使う 炭入れや、すす竹であん
だ炭とりを見たことがあります。

⑤ 炭を炭のかますから出すときは長い炭も

^{てきとう}
 あるので 適当な大きさに割って すみ入れにいれ
 て置きそこからじゅうのうに入れて火ばちまでもつ
 て来ました。炭を割るには 炭と炭をぶっつけて
 割るのが一番よいそうです。また火種は「夏下・冬上
 といって夏は下に 冬は上にあくとよくおきるのだ
 そうです。消えそうになった時にはトタンで
 きた えんとつを立ててやると火が赤くおきて
 くるということです。

炭を割った時に出来た炭のくずや ^{こなすみ} 粉炭は
 冬、ほりごたつに便しました。



① ぶしよぶろ (ながひばち ^{ながひばち} 長火鉈)

② どうしてしるべたか

③ 用途 ^{ていぶん} 「ちやのま」にあたから ^(鉄瓶で) お湯をわかしたり、もちをやいたり、

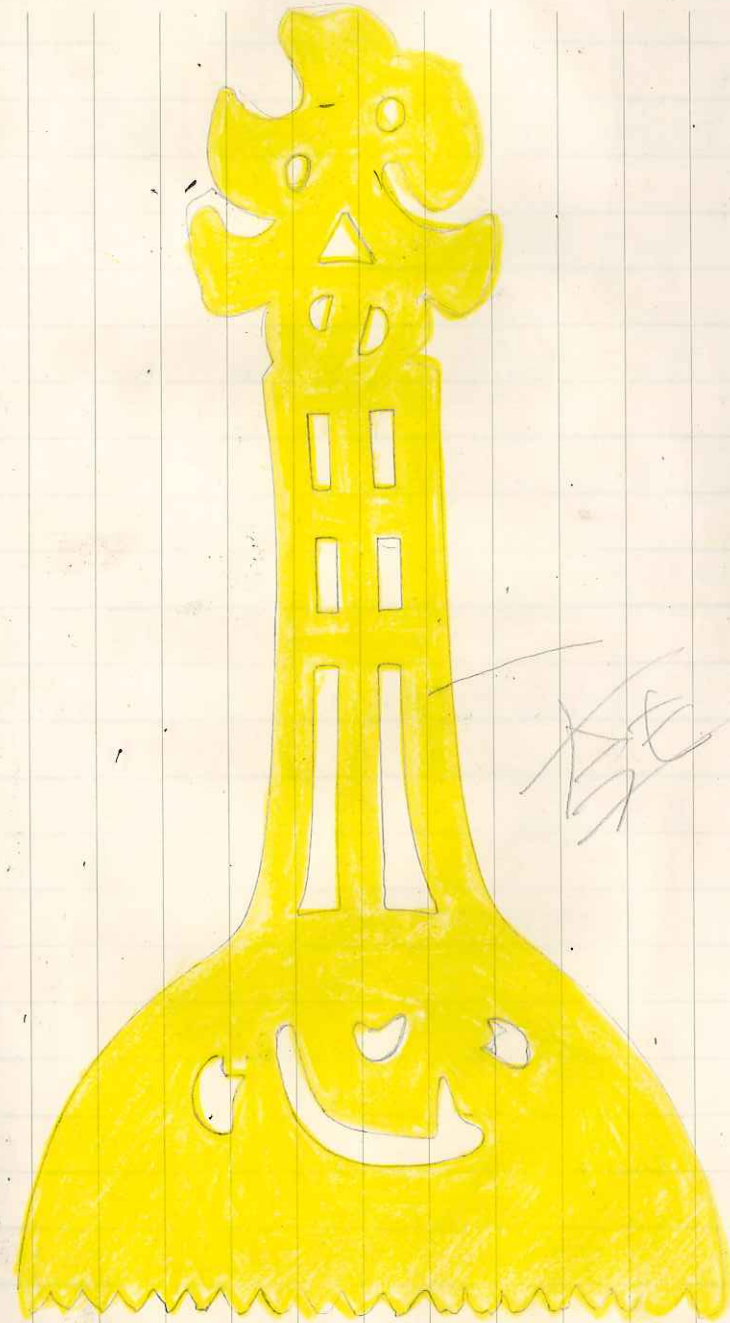
手をあたためたりするもの

④ ストーブ、サロンヒーター

鉄ひん

⑤ 長火鉢のそばには茶筒、茶こぼし 引出し
にはあみわたしや 懐炉^{かいろ}などが入っていて、すぐ
そばには茶たんすがあるので、その場にすわって
いてお茶を出したり おかしを出したり それに
おもろをやいたり出来てとても便利です。
炭火でやいた、もちは、なんともいえない、味がしま
す。

8月2日



①はいならし

②なぜ調べたか

家にあたから

③用途

はいを平らにするため

のもの

④私の感想

始めは全く気がつ

きませんでしたか

よく見てみると

はいならしには、

『火の用心』という形

になっていました。

とてもおもしろいと思いました。

この研究をしてのまとめ

私の感想

私は「日常使われている道具の移りかわり」を調べました。

昔の道具はあわせて15種類しらべました。

昔のものはやはり、木でできているのが多かったようでした。

昔は便利だと思って使った物も、今になってみれば不便な

物が多いようでした。昔はすみをたくさん利用していたのに、

今はガスなどを利用してすみはもう使われなくなっています。

道具というのは、20年くらいの間でも、とても便利な物になる

んだ。ということがわかりました。この調子でいくと、私が

30歳になった時は、今よりも、もっと便利な物ができる、か

んじがします。

とにかく、昔の道具は、手間と時間がかかってしまうようでした。

それと比べて、今のものは、手間がかからなくて、便利な物

がふえています。

便利なことはよいのですが、悪いことだってあります。

それは便利のために、プラスチックやビニールなど、しよりのしにくい物がでてきています。紙や生ゴミのように火焼いて、はいにすることができればよいのですが、ビニールやプラスチックの場合は、ふいねん物となつてだんだんゴミがふえつつあるのです。

このような物が地球上にあふれてしまったらどうするのか。と考えると私はとてもおそろしくなりました。だから、道具はせつやくして、使わなければならぬと思いました。

研究反省

私はこの研究をしてふだんは小屋のかたすみに、ほこりをかぶっていて、きたないと思っていた物も1つ1つ家の人の話をきいていくと父や母たちが昔どんな風にしてくらしどんな風にその道具を使っていたのかかわかり、とてもおもしろいと思いました。

私の調べた物の外にもまだいろいろ道具があるので、そんなのも、どんな風に使われ今は何にかわったか。をもっと調べ、もっといろいろな話を家の人に聞けばよかったと思います。また残念なことは一年ほど前に、小屋にいろいろしまっておいた、ばんがはコタシのやぐら、米びつ、アイロン、あんか、などしまっておいてもしかたがないからとすててしまったそうです。

① かまど

② どうして調べたか 家にあるので

③ 用途 ごはんをたいたりにものを作ったり

おゆをゆかしたりする。

④ 今はどんな物にかわったか。

炊飯ジャー ガスレンジ

⑤ はかまとなべが火の2こずつあり両方便えるお

うになっています。昔は朝はかまどでごはんをたく時

に、かまどにまきをくべるのですがその時すみを

入れて最初の火種をおこしセリんや、ひばちにとった

のだそうです。右と左のかまどの間とえんとつの

わきに細長い穴があいていて、そこらトタンで出来た

平たい板をさしこんで火のちょうせつをします。

かまどの間にある穴を開けたまま、右のかまどでご

はんをたくとします。そのとき左のかまどのはがまでは、
何もになくとも必ず、木を入れておくと、ほのおは右から、
左を通、えんとつから出ていくから、ひとりでには、おゆが
わき、おひたしなどをゆでたり、できるのでとてもべん
どです。

私の家では、今でも大量のおゆをゆかすときや
お祭りのときの煮もの、五月せくのささまきなどを作る
ときはかまどを使います。

でも一度使うとはがまの底がすすでまっくろに
なるので、洗うのがとても大へんです。